

第19期

平成7年5月2日～平成11年5月1日 [平7.4.9選挙執行] 定数69名

この期の 主な出来事

- * 大型金融機関相次いで破たん（平9.11）、第18回冬季オリンピック長野大会開催（平10.2）
- * 第5回全国知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック北海道大会」開催（平8.9）、豊平区から清田区が分区（10区体制）（平9.11）

芸術文化・環境都市へ

この4年間は、長引く景気の低迷や金融機関の経営破たんなど、市内経済は深刻な状況にあり、同時に本市の財政状況も非常に厳しいものでした。このような中で、市内経済の回復を図るため、これまでで最大規模の補正予算を編成するなど、景気対策に積極的に取り組み、行財政改革の推進、だれもが健康で安心して暮らせる街づくりのための各福祉計画の推進、地球環境の保全のための環境基本計画の策定、ごみ減量化とリサイクルの推進に取り組みました。



第19期市議会議員



サッポロさとらんどオープン
(平7.7)

市民が思いやりながら農業体験等ができる田園空間であり本市の都市農業を総合的に支援する場所です。



札幌コンサートホール
「Kitara」オープン
(平9.7)

世界最高水準の音楽専用ホール。海外・国内の一流アーティストから高い評価を受けています。(大ホールはアリーナ型ワイナード形式で2,008席、小ホールはシューボックス型453席)



「コンサドーレ札幌」誕生(平8.4)

コンサドーレは北海道のファンのため、札幌のサポーターのために誕生しました。



市立札幌病院移転開院
(平7.10)

病院ボランティアの導入、手話通訳者の配置や屋上にヘリポートを設置し、質の高い広域救急医療への対応を実施しています。

第20期

平成11年5月2日～平成15年5月1日 [平11.4.11選挙執行] 定数68名

この期の 主な出来事

- * 有珠山噴火（平12.3）、雪印乳業食中毒事件（平12.6）、牛海綿状脳症感染確認（平13.8）
- * 市全庁でISO14001認証取得（平13.11）、「協働都市を目指して」・札幌市都市経営基本方針を策定（平14.5）

21世紀への街づくり

景気が低迷を続け、行財政運営も厳しさを増す中、本市はさらなる行財政改革の推進と、より一層効率的な行政運営に取り組むとともに、市民・企業・行政がともに街づくりを進める協働型社会を目指して、第四次長期総合計画と、新5年計画をスタートさせました。

また、ごみ減量化・リサイクル推進の基本計画「さっぽろごみプラン21」や、新しい雪対策基本計画も策定しました。

平成13年6月には、待望の札幌ドームがオープンし、平成14年6月にFIFAワールドカップサッカー大会が開催され、世界に札幌の名がさらに広まりました。



第20期市議会議員（平成11年5月6日）



生涯学習総合センター
「ちえりあ」オープン(平12.8)

この施設は、集い、学び、研修することを目的に幼児からお年寄りまでの市民が、さまざまな活用できるようにつくられた複合施設です。



FIFAワールドカップ札幌での
3試合(平14.6)

6月1日ドイツVSサウジアラビア
6月3日イタリアVSエクアドル
6月7日イングランドVSアルゼンチン



サポーターでにぎわう大通公園



環状通エルムトンネル開通(平13.6)

北海道大学周辺の環境を生かしながら地下に道路を通す「アンダーバス方式」を採用しています。



札幌ドーム「HIROBA」
オープン(平13.6)

世界に誇る画期的システム「ホウワリングサッカーステージ」を備えています。